

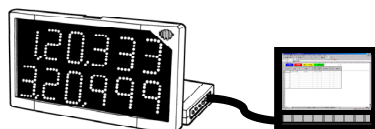
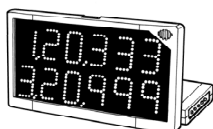
アスレチックタイマー AT100PC データ転送ソフト 【AT100PC_DT1.xls】 取扱説明書

Ver 1.00

本書

AT100PCにデータをどんどんメモリーして、後からパソコンに一括転送

- ① AT100PCにどんどんデータをメモリーして
- ② AT100PCを持ち帰り
- ③ AT100PCとパソコンを接続してデータを一括転送



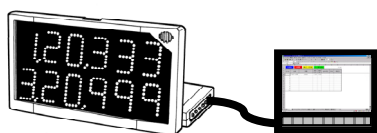
ブロックNo.	データNo.	測定データ
01	01	0.000
01	02	5.378
02	01	0.000
02	02	6.159
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮

【AT100PC_DT1.xls】
を使用してください。

- ・AT100PCの測定データを機能ごとに一括して転送します。
- ・転送後のデータは、時:分:秒形式と秒形式で表示されます。
※垂直とび、連続ジャンプはcmで表示されます。
- ・転送したデータを、自由にカスタマイズしてご使用ください。

AT100PCで測定するたびにパソコンにデータを転送

- ① AT100PCで1回測定
- ② その都度パソコンに転送



ブロックNo.	データNo.	測定データ
01	01	0.000
01	02	5.378

【AT100PC_DT2.xls】
を使用してください。

- ・AT100PCの測定データを、測定するたびに転送します。
- ・その場で測定データの比較やグラフにして表示することができます。
- ・各機能の測定データを選手ごとにまとめて表示することができます。

※重要

このソフトで転送できるデータは最後（または指定回数）に測定したデータのみです。
それ以外のデータはAT100PCのメモリーから削除されます。

●AT100PC本体の操作方法は、本体付属の取扱説明書をご覧ください。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要なときお読みください。

molten®

目 次

◀1▶	初期設定	3
	【1】 注意事項	3
	【2】 データ転送するための準備	3
	【3】 データ受信画面について	5
◀2▶	AT100PCからデータ転送	6
	【1】 データ転送	6
◀3▶	その他	8
	【1】 エラー発生時の対処法	8

1 初期設定

【1】注意事項(重要)

- ①【AT100PC_DT1.xls】はモルテン製アスレチックタイマーAT100PC(以下AT100PC)で測定したデータを、パソコンに転送するためのソフトです。
このソフトを利用したことにより生じた利用者の不利益は、一切保障しませんのでご了承ください。
使用方法を誤りますと、AT100PCでの測定データが消去される可能性があります。
※消去されたデータは元に戻せません。

- ②【AT100PC_DT1.xls】でAT100PCからデータを取込めるデータ種類は、下記の8機能です。

- | | | | |
|------|------------|-------|--------|
| ●機能1 | スプリット/トータル | ●機能9 | 垂直とび |
| ●機能2 | ラップ/トータル | ●機能10 | 連続ジャンプ |
| ●機能3 | ラップ/スプリット | ●機能11 | 単純反応 |
| ●機能4 | マラソン大会 | ●機能12 | 選択反応 |

※機能1、2、3でデータを取込める件数は1ブロックあたり210件までとなります。210件を超えるデータは削除されます。

【2】データ転送するための準備

(1) 使用機器

- ① AT100PC
- ② パソコン

- ・適応パソコン: IBM PC/AT互換機 (Macintoshでは動作しません)
- ・OS: Microsoft Windows 2000/XP
- ・必要ソフト: Microsoft Excel 2000/2002/2003
※マクロを必ず有効にしてください。
- ・適応スペック: 上記Excelの稼働推奨スペックに準ずる
※Microsoft Windows 2000、Windows XP、Excelは米国マイクロソフト社の登録商標です
- ・インターフェイス: USBまたはRS-232C
※1 オプションのUSBRSを使用する場合、USB端子をお使いください。
※2 RS-232Cケーブル(ストレート)を使用する場合、RS-232C端子をお使いください。

③ 接続ケーブル

USBRS(オプション)または市販のRS-232Cケーブル(D-Sub9ピンメス-D-Sub9ピンメス・ストレート)

(2) AT100PCとパソコンを接続

① オプションのUSBRSを使用する場合

AT100PCのパソコン接続端子とパソコンのUSB端子を図のように接続します。
※ USBRSケーブルのセットアップが必要です。詳細はUSBRS付属の説明書を参照してください。

●AT100PC⇄USBRS



●パソコン⇄USBRS



② RS-232Cケーブルを使用する場合

AT100PCのパソコン接続端子とパソコンのRS-232C端子を図のように接続します。

●AT100PC⇄RS-232C



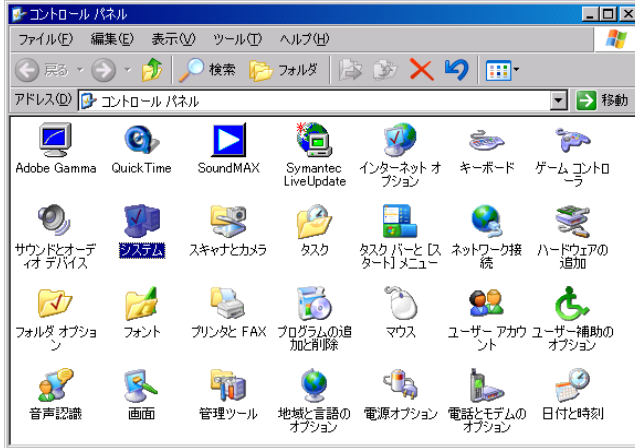
●パソコン⇄RS-232C



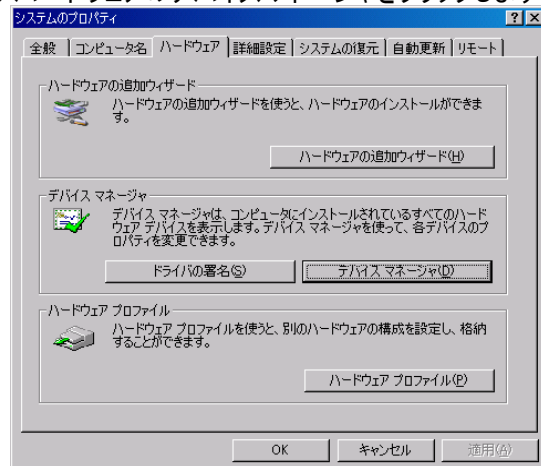
(3) ポート番号の確認 (重要)

このソフトではパソコンのCOMポートを使用します。
COMポートの番号はパソコンによって異なりますので、必ずポート番号を確認して控えておいてください。
控えた番号は5ページにて使用します。
※下記画面はWindowsのバージョンや設定により異なる場合があります。

① コントロールパネルを開き、システムをダブルクリックします。



② ハードウェアのデバイスマネージャをクリックします。

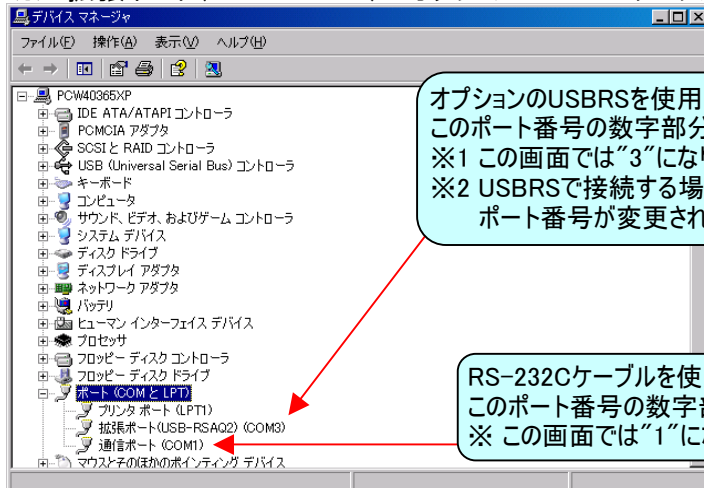


③ ポート (COMとLPT) をクリックするとCOMポート番号が確認できます。

※1 COMポートが存在しない場合はAT100PCのデータを取得できません。

オプションのUSBRS (RS232C⇔USB変換) を使用してください。

※2 拡張ポート (USB-RSAQ2) はオプションのUSBRSケーブルを使用した場合に表示されます。



オプションのUSBRSを使用する場合
このポート番号の数字部分を5ページのポート番号に入力します。
※1 この画面では“3”になります。
※2 USBRSで接続する場合、接続するUSB端子によって
ポート番号が変更されます。

RS-232Cケーブルを使用する場合
このポート番号の数字部分を5ページのポート番号に入力します。
※ この画面では“1”になります。

(4) ソフトを起動させます。

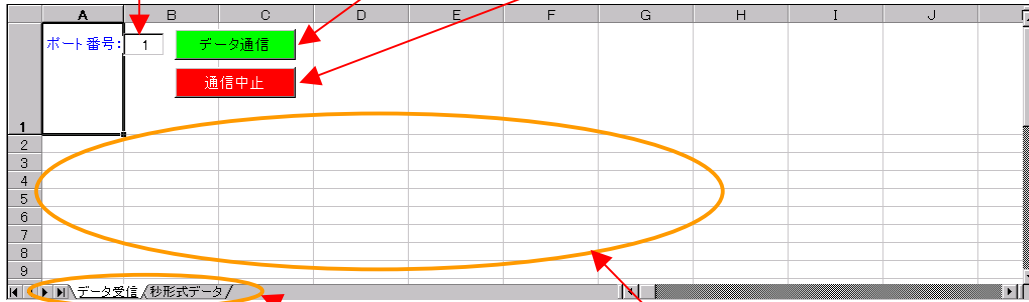
ソフトを起動してセキュリティ警告が表示された場合、かならずマクロを有効にしてください。

【3】データ受信画面について

ポート番号を入力します。
※1 パソコンのポート番号確認方法は4ページを参照してください。
※2 USBRSで接続する場合、接続するUSB端子によってポート番号が変更されます。

AT100PCとデータ通信を開始します。
データ通信中にAT100PCの『データ転送』を押すとデータを取込みます。

データ通信をキャンセルします。



シートを選択します。

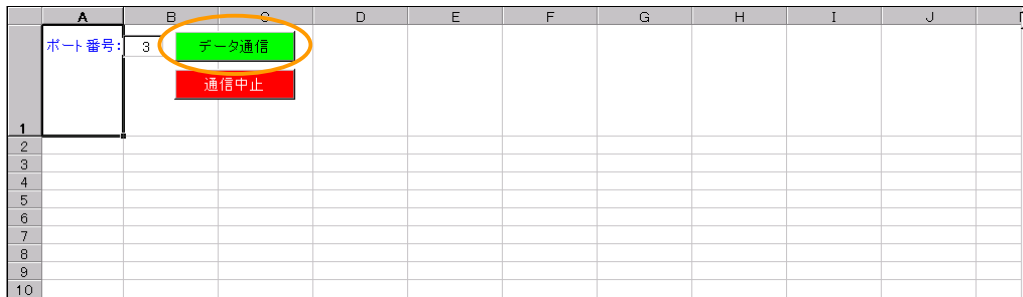
AT100PCから取込んだデータを表示します。

◀ 2 ▶ AT100PCからデータ転送

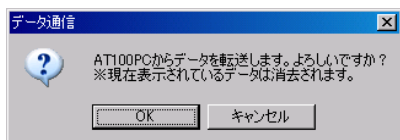
【1】データ転送

※AT100PCからデータ転送を行うと、現在データ受信シート、秒形式データシートに表示されている内容はすべて消去されます。データ転送前に別のファイル等にコピー・保存されます事をお勧めします。

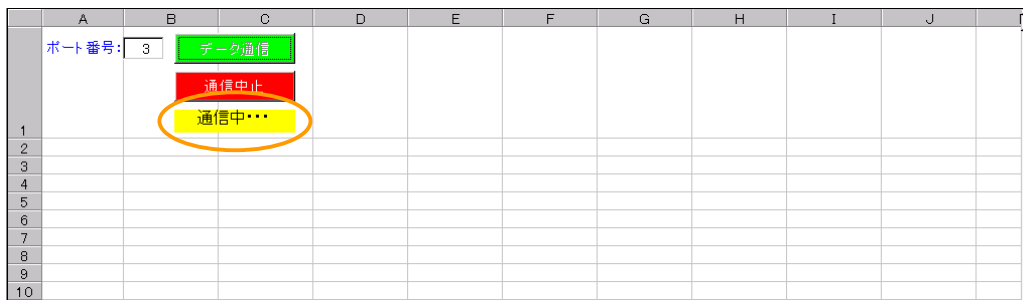
- (1) AT100PCでデータ転送する機能を選択します。
- (2) データ通信ボタンをクリックします。



- (3) 下記画面が表示されます。OKをクリックします。



- (4) 『通信中...』が表示されます。



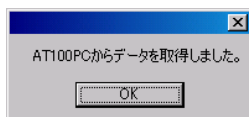
※ 下記画面が表示される場合、データ通信ができません。



以下の確認をしてください。

- ケーブルが正しく接続されていますか？ ⇒ 3ページ参照
- ポート番号設定は正しいですか？ ⇒ 4ページ参照

- (5) パソコンのデータ通信ボタンを押してから、30秒以内にAT100PCの『データ転送ボタン』を押してください。
※30秒以内に『データ転送ボタン』を押さないと、自動的にキャンセルされます。
- (6) データ通信が終了すると下記の画面が表示されます。OKをクリックします。



(7) データをAT100PCからパソコンに転送して、測定結果が表示されます。

●データ受信シート(時:分:秒形式表示)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
	ポート番号:	3	データ通信							
			通信中止							
1										
2										
3	機能1									
4	ブロックNo.	タイム								
5	1	00:00:00.000	00:00:06.285							
6	2	00:00:00.000	00:00:05.632							
7	3	00:00:00.000	00:00:06.734							
8	4	00:00:00.000	00:00:06.260							
9										
10										

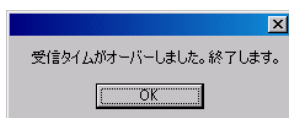
※垂直とび、連続ジャンプではcmで表示されます。

●秒形式データシート(秒形式表示)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2										
3	機能1									
4	ブロックNo.	タイム								
5	1	0.000	6.285							
6	2	0.000	5.632							
7	3	0.000	6.734							
8	4	0.000	6.260							
9										
10										

※垂直とび、連続ジャンプでは何も表示されません。

(8) 下記画面が表示された場合、データ取得エラーです。



以下の確認をしてください。

- 30秒以内にAT100PCのデータ転送ボタンを押しましたか？
- ポート番号設定は正しいですか？ ⇒ 4ページ参照

【1】エラー発生時の対処法

下記のメッセージが表示された場合、データ転送エラーです。

Excel(場合によってはWindows)を終了してください。

ケーブル接続を再確認してExcel(またはWindows)を再起動後、もう一度処理をやり直してください。

- 通信ポート(『設定したポート番号』)の情報を取得できませんでした。 ※1
- 通信ポート(『設定したポート番号』)パラメータの初期化できませんでした。 ※1
- 通信デバイス DCBブロックを格納できませんでした。
- 通信デバイス 送信・受信バッファをクリアできませんでした。
- 通信デバイス タイムアウトパラメータを設定できませんでした。
- 通信デバイス タイムアウトパラメータを取得できませんでした。
- デバイスを閉じれませんでした。
- 通信デバイスに書き込み失敗しました。
- 通信エラーが発生しました。ERROR CODE=『エラー番号』 ※2
- 通信デバイスの読み込みに失敗しました。

※1 『設定したポート番号』にはIDリストシートで設定したポート番号が表示されます。

※2 『エラー番号』には任意のエラー番号が表示されます。